

レビューア向け思考能力 トレーニング法の提案

主査

中谷 一樹 TIS (株)

副主査

原 佑貴子 日本アイ・ビー・エム(株)

上田 裕之 (株)DTS

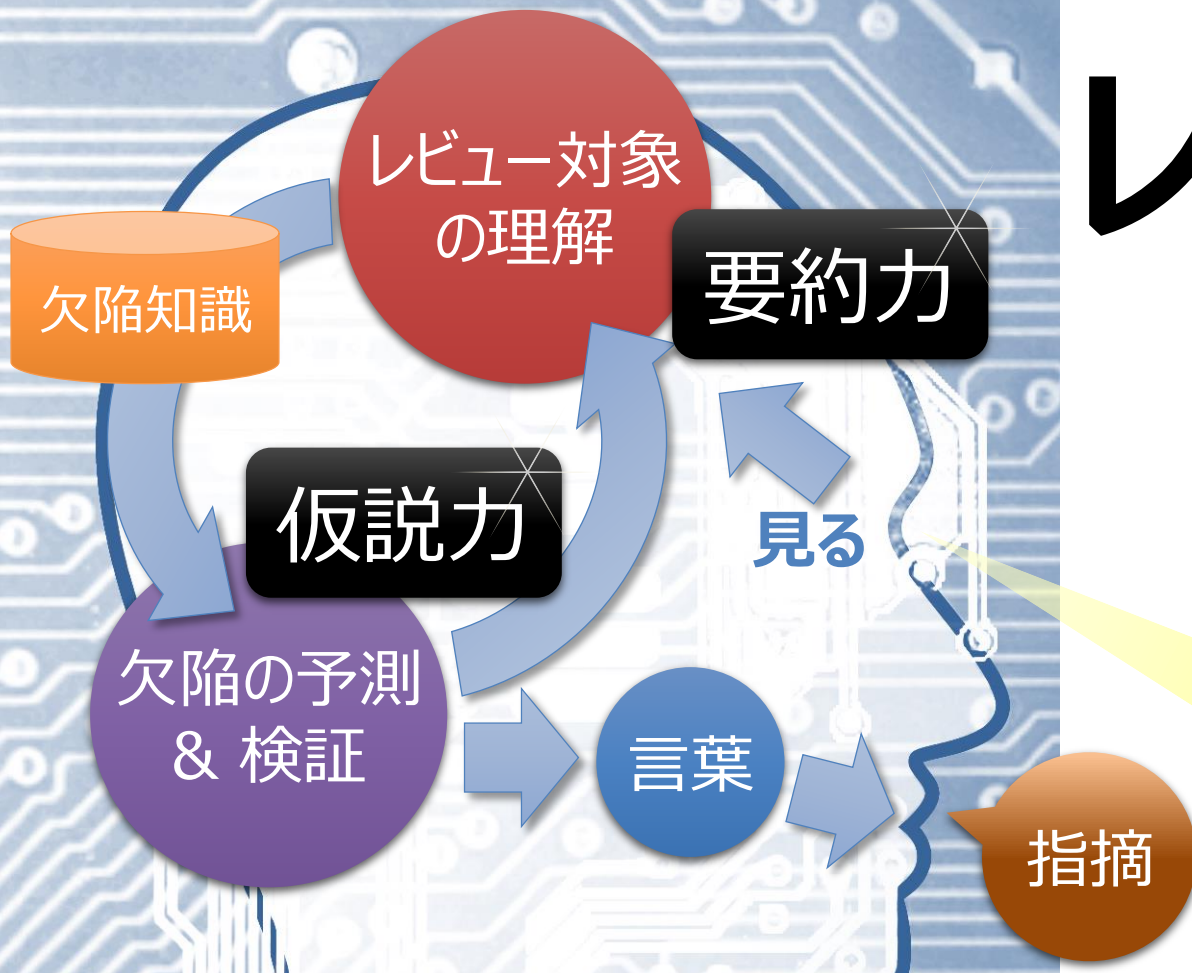
研究員

荒井 良幸 (株)日立製作所

延原 敦 テックスエンジニアリング(株)

久松 利光 日本システム技術(株)

レビューに必要な能力



レビューに必要な能力のうち、
要約力と**仮説力**が重要

レビューアの要約力の発揮事例

交通費精算システム

2-3 交通費承認一覧画面

当画面では利用者が承認者として申請された**交通費精算データ**を表示し、承認を行う。検索条件の申請日、申請状況を入力し、検索ボタンを押下することで、利用ユーザが指定された**交通費精算データ**が表示される。

交通費精算書を承認する場合は、交通費一覧の選択をチェックし、承認ボタンを押下で、**交通費精算データ**の承認処理ができる。同様に否認ボタンを押下することで否認処理、印刷ボタンを押下することで、交通費精算書を出力できる。

交通費精算の明細データを参照する場合は、交通費一覧を表示後、申請番号を押下することで交通費承認明細画面に遷移する。（当資料では交通費承認明細画面の説明は省略）

大事なところ
だけに着目

【交通費精算一覧画面イメージ】

交通費精算一覧

従業員：〇〇太郎 申請日：yyyy/mm/dd～yyyy/mm/dd

検索

新規

交通費一覧

申請番号

申請日

精算額

申請者

申請状況

開発者と異なるレビューア独自の読み方

レビューアの仮説力の発揮事例



開発者と異なるレビューア独自の思考

レビューに必要な能力＝
要約力＋仮説力



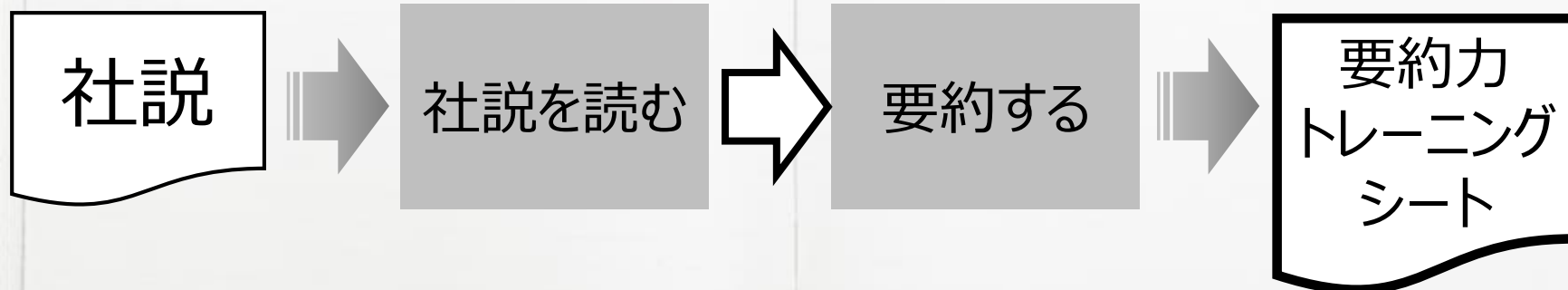
トレーニングで向上が期待

1. 要約力トレーニング

**社説を読み、テーマ、結論、
理由、背景を記述する**

※毎日継続的に実施すること

1日 5分 (1個あたり5分)



要約カトレーニング実例

社説

部活動の休養日 楽しんでこそそのスポーツだ

適度な練習により、生徒や指導教員が楽しく、前向きに取り組める部活動にしたい。

中学や高校の運動部の活動に関し、文部科学省は、休養日を適切に設けるよう教育委員会に通知した。

スポーツ庁が約1万6000の中学校を対象に実施した調査で、2割が週に1日も休養日を設けていないことが分かった。東京や大阪では6割超に上った。

行き過ぎた部活動は、身体の故障や精神的な「燃え尽き」につながる。疲れ切って、勉強が疎おろそかになっては、本末転倒だ。文科省が「生徒、教員ともに、様々な無理や弊害を生む」として、改善を求めたのは、もともとである。

部活動は学校教育の一環だ。学習指導要領は、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育むのに役立つ、と謳っている。練習や試合を通して培った友情が、大きな財産となっている人も多いだろう。

部活動は、アスリート養成の役割も担う。競技力向上の最前線として、猛練習を容認する風潮が少なからずある。各競技の名門校で、特にその傾向が強い。

政府の有識者会議が1997年に、「中学は週2日の休養日、土日の練習は3、4時間以内」といった指導例を示したものの、十分に浸透していないのが現状だ。

より多くの生徒がスポーツに親しむ環境作りのために、部活動の在り方を見直すべきだ。トップ選手を目指す生徒の受け皿としては、地域や民間のクラブなどを充実させることが求められる。

部活動は、教員を多忙にする大きな要因でもある。練習や試合への引率などで時間を割かれる。

横浜市教委は一昨年、「部活ノーデー」を設けた。大阪府教委は、府立校に週最低1日の休養を義務付ける試みを1月から始めた。

スポーツ庁も、医学の観点を取り入れた調査を実施した上で、練習時間や休養日に関する新たな指針を新年度に策定する。

確実に改善するためには、教諭以外の外部人材を積極的に活用することが欠かせない。

少年野球チームの監督や各競技の元選手らを指導者として受け入れている自治体もあるが、身分や責任は必ずしもはっきりしない。教員ではないため、大会への引率ができないケースも多い。

文科省は、学校教育法の施行規則を改正して、法的立場を明確にした「部活動指導員」の配置を促し、問題点を解消する方針だ。

適切な指導を徹底させて、つら過ぎる部活動をなくしたい。

要約カトレーニング実例

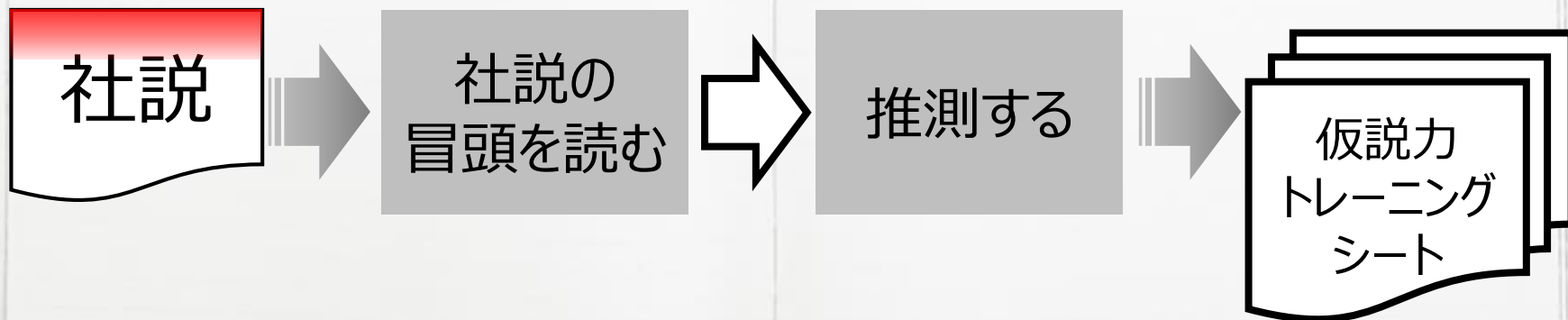
テーマ	部活動の休養日 楽しんでこそそのスポーツだ
結論	部活動の在り方を見直すべきだ
理由	猛練習を容認する風潮がある 行き過ぎた部活動は、身体の故障や精神的な「燃え尽き」につながる
背景	横浜市教委の「部活ノーデー」 医学の観点からの練習時間や休養日に関する指針

2. 仮説カトレーニング

社説の4分の1を読み、
結論、理由、背景を推測する

※毎日継続的に実施すること

1日 15分 (1個あたり5分 × 3個)



仮説カトレーニング実例

社説

目安1/4

部活動の休養日 楽しんでこそそのスポーツだ

適度な練習により、生徒や指導教員が楽しく、前向きに取り組める部活動にしたい。中学や高校の運動部の活動に関し、文部科学省は、休養日を適切に設けるよう教育委員会に通知した。スポーツ庁が約1万6000の中学校を対象に実施した調査で、2割が週に1日も休養日を設けていないことが分かった。東京や大阪では6割超に上った。

行き過ぎた部活動は、身体の故障や精神的な「燃え尽き」につながる。疲れ切って、勉強が疎おろそかになっては、本末転倒だ。文科省が「生徒、教員ともに、様々な無理や弊害を生む」として、改善を求めたのは、もったもである。

部活動は学校教育の一環だ。学習指導要領は、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育むのに役立つ、と謳っている。練習や試合を通して培った友情が、大きな財産となっている人も多いだろう。

部活動は、アスリート養成の役割も担う。競技力向上の最前線として、猛練習を容認する風潮が少なからずある。各競技の名門校で、特にその傾向が強い。

政府の有識者会議が1997年に、「中学は週2日の休養日、土日の練習は3、4時間以内」といった指導例を示したものの、十分に浸透していないのが現状だ。

より多くの生徒がスポーツに親しむ環境作りのために、部活動の在り方を見直すべきだ。トップ選手を目指す生徒の受け皿としては、地域や民間のクラブなどを充実させることが求められる。

部活動は、教員を多忙にする大きな要因でもある。練習や試合への引率などで時間を割かれる。横浜市教委は一昨年、「部活ノーデー」を設けた。大阪府教委は、府立校に週最低1日の休養を義務付ける試みを1月から始めた。

スポーツ庁も、医学の観点を取り入れた調査を実施した上で、練習時間や休養日に関する新たな指針を新年度に策定する。

確実に改善するためには、教諭以外の外部人材を積極的に活用することが欠かせない。少年野球チームの監督や各競技の元選手らを指導者として受け入れている自治体もあるが、身分や責任は必ずしもはっきりしない。教員ではないため、大会への引率ができないケースも多い。

文科省は、学校教育法の施行規則を改正して、法的立場を明確にした「部活動指導員」の配置を促し、問題点を解消する方針だ。

適切な指導を徹底させて、つら過ぎる部活動をなくしたい。

仮説カトレーニング実例①

テーマ	部活動の休養日 楽しんでこそそのスポーツだ		
	1回目	2回目	3回目
結論	文武両道が学生の本文だ	先生も休みたい	...
理由	スポーツ選手として大成するのは一握りプロ野球選手の引退後のセカンドキャリアも重要	部活動指導により先生の休み消失残業代が出ず、モチベーションも上がらない	...
背景	高校野球の21世紀枠	プレミアムフライデー導入企業の増加	...

実験・評価 1/2

5日間11名にトレーニングを実施し、欠陥検出数を測定

トレーニング前

仕様書

個人
レビュー

レビュー指摘票

トレーニング(1日約20分)

1日目

要約力

仮説力

2日目

要約力

仮説力

3日目

要約力

仮説力

4日目

要約力

仮説力

5日目

要約力

仮説力

トレーニング後

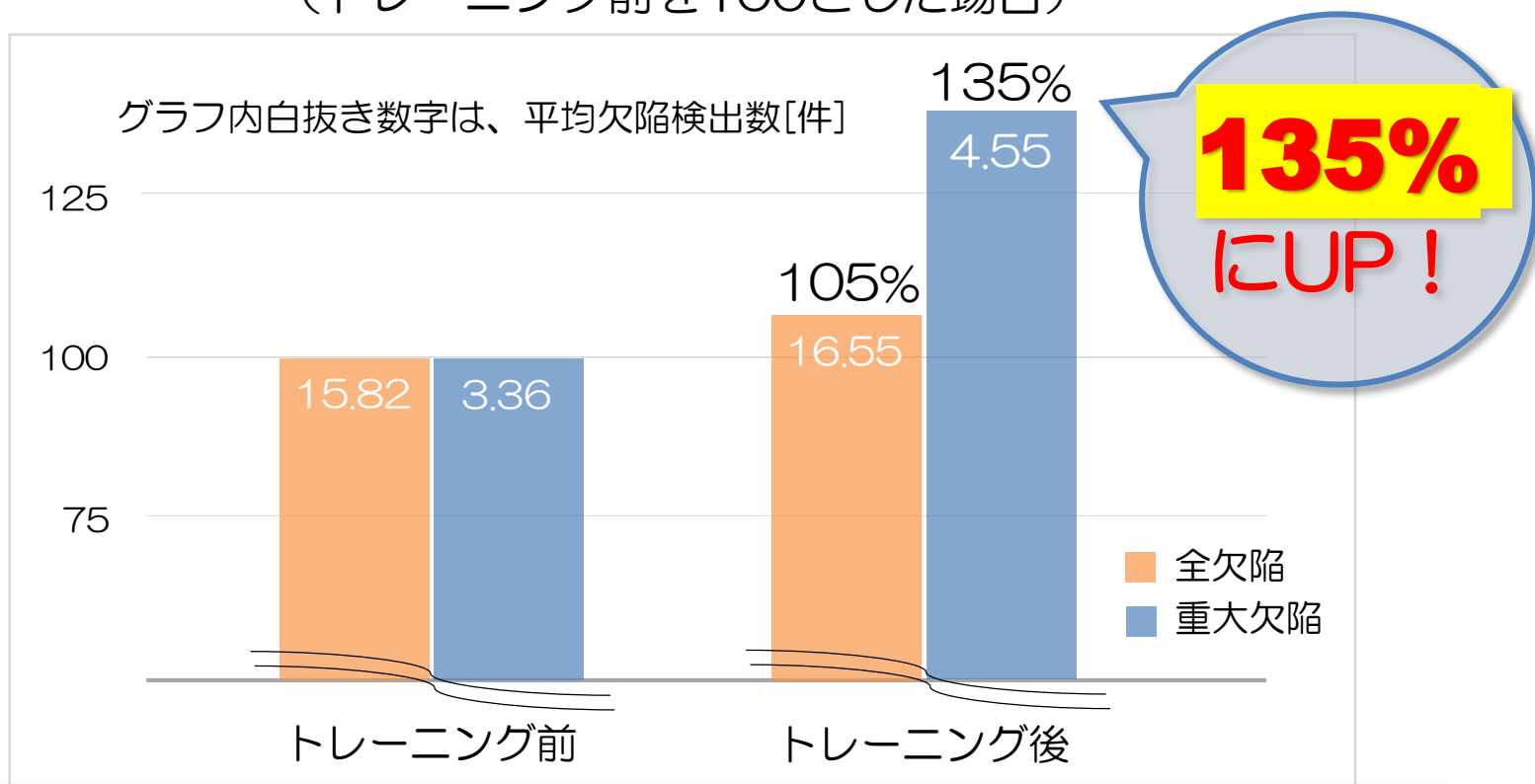
仕様書

個人
レビュー

レビュー指摘票

実験・評価 2/2

トレーニング前後での欠陥検出数の伸び率[%]
(トレーニング前を100とした場合)



トレーニングにより重大欠陥検出数が向上!!

まとめ

レビューアに必要な能力は、**要約力**と**仮説力**

要約力と仮説力は**トレーニング**で向上可能

要約力と仮説力の向上が、**重大欠陥**の検出に有効